春日部市防犯カメラの運用等に関するガイドライン

1 目的

このガイドラインは、家庭用防犯カメラ設置補助金交付事業に伴い設置する、家庭用防犯カメラの設置及び運用する者が配慮すべき事項等を定めることにより、市民等のプライバシー保護を図るとともに、個人情報の取り扱いの適正化を図ることで、防犯カメラに対する信頼を確保することを目的としています。

2 定義

(1) 家庭用防犯カメラ

自ら居住する住宅（事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねる家屋を含む）への犯罪等を未然に防止するため屋外（共同住宅にあつては、屋内の共用部分を含む。）に常設する撮影装置をいいます。

(2) 公共空間

道路、公園、広場その他の不特定多数の者が利用又は通行する場所をいいます。

(3) 画像データ

家庭用防犯カメラの録画装置により撮影し、記録されたものであって、それによって個人等を識別できるものをいいます。

3 設置について

(1) 設置目的の明確化

防犯カメラの設置にあたっては、春日部市家庭用防犯カメラ設置補助金の交付申請者を管理者（以下「管理者」という。）とし、犯罪防止など、設置目的を明確にし、その目的を逸脱した運用を行ってはいけません。

(2) 撮影範囲と設置場所

防犯カメラを設置するにあたっては、設置目的に則して犯罪の予防効果の向上と個人のプライバシー保護との調和を図るため、自宅等（隣接する公共空間を含む）必要最小限の範囲で撮影範囲を設定し、第三者の建物や敷地等不必要な画像ができるだけ記録されないよう、設置場所、角度、画角を決めてください。

4 画像データ等の適正な管理

管理者は、防犯カメラの操作や視聴及び画像の適切な管理、情報の漏えい防止等に配慮し、適正に管理運用を行ってください。

(1) 画像データの保存期間

画像データの漏えい、滅失、き損又は流出等の防止その他の安全管理を徹底するために、保存期間は短期間とするものとし、おおむね1箇月以内で必要な保存期間を決め、不必要な画像データの保存は行わない。

(2) 画像データ等の厳重な管理

防犯カメラのモニターや録画装置、画像データを記録した記録媒体（ビデオテープ、DVD、ハードディスク等）やパソコンについては、管理者以外の者が容易に見通せない場所で厳重に管理し、(5)に定める場合を除き、画像の複写及び加工、外部への持ち出しは禁止するものとする。

(3) 画像データの消去

保存期間が終了した画像は、データの上書き又は初期化などにより確実に消去してください。

記録媒体（記録媒体を内蔵している画像記録装置を含む。）を破棄する場合、画像の読み取り又は復元ができないようにしてから処分してください。

(4) 秘密の保持

管理者は、防犯カメラの画像と画像から知り得た個人情報等を第三者に漏らしてはならない。また、それらを不当な目的のために使用してはならない。このことは、管理者でなくなった後においても同様とする。

(5) 画像の提供

管理者は、次のいずれかに該当する場合を除き、第三者に画像を提供してはならない。

(ア) 法令等に定めがある場合

(イ) 捜査機関から犯罪又は事故の捜査の目的で、文書により画像提供の要請を受けた場合

上記に基づき、第三者に画像を提供する際に相手方の身分を確認し、提供した日時、提供先、提供理由、提供した画像の内容を記録してください。

5 問い合わせ等への対応

管理者は、防犯カメラに関する問い合わせ又は苦情を受けた場合、誠実かつ迅速に対応してください。

6 その他

- (1) 設置後、5年間は撤去をしないでください。
- (2) 職員が設置宅を訪問し、設置状況を確認させていただく場合があります。その際には、ご協力をお願いいたします。

7 施行期日

令和7年4月1日